

2018 年生活経済学会関東部会プログラム

生活経済学会関東部会部会長 駒村康平

生活経済学会関東部会会員のみなさま

以下の要領で、2018 年生活経済学会関東部会を開催いたします。ご参加お持ちしております。別途、出席確認をさせていただきます。

1：日時 2018 年11 月24 日（土）13 時～17 時15 分（終了後、懇親会あり）
（12 時半受付開始）

2：場所 嘉悦大学（小平市・花小金井）<http://www.kaetsu.ac.jp/access/>

〒187-8578 東京都小平市花小金井南町2-8-4

交通 西武線 花小金井駅 徒歩7 分 あるいはJR 武蔵小金井 バス8 分+徒歩5 分

<http://www.kaetsu.ac.jp/access/>

3. 関東部会スケジュール

（1）自由論題分科会（13 時～15 時）各報告30分、質疑10分（生活経済学会会員のみ）

1）自由論題第1会場、座長：宮村健一郎（東洋大学）

第1報告：佐野潤子（お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所）「リスク選好におけるジェンダー～先行研究からの考察～」（討論者：丸山桂（成蹊大学）

第2報告：泉田信行（国立社会保障・人口問題研究所）「居住保障において企業が果たしてきた役割とそれを代替する機能について」（白石憲一 群馬医療福祉大学）

第3報告：岡本翔平（慶應義塾大学経済学研究科後期博士課程）「金融リテラシーはどのように形成されるのか：金融リテラシー調査を用いた分析」（共同報告者：駒村康平（慶應義塾大学））（討論者：野尻哲史（フィデリティ退職・投資教育研究所））

2）自由論題第2会場、座長：斉藤香里（千葉商科大学）

第1報告：中嶋邦夫（ニッセイ基礎研究所）「私的年金への税制優遇は公的年金の繰り下げ受給を促進するか？サーベイ調査を利用した検証」（共同報告者：北村智紀（東北学院大学））（討論者：山田篤裕（慶應義塾大学））

第2報告：渡辺久里子（国立社会保障・人口問題研究所）「住宅費困難世帯のベンチマークとは？—住宅費過重負担率と最低生活費未満率の対比」（共同報告者：田中聡一郎、関東学院大学））（討論者：山田篤裕（慶應義塾大学））

第3報告：丸山桂（成蹊大学）「中高年非正規・無業者の年金納付行動」（討論者：中嶋邦夫（ニッセイ基礎研究所））

*報告者は、座長、討論者、関東部会事務局駒村研究室に各自で事前に論文、報告資料を提出してください。連絡先が不明な場合は、関東部会事務局にご連絡ください。

*パワーポイント等をご利用する際には、当日データをUSBなどの媒体で持参ください。
配布資料については、各自でご用意ください。

4. 特別セッション（15時15分から17時15分）（後援：慶應義塾大学ファイナンシャル・ジェロントロジー研究センター、外部参加者可能）

（1）「女性のライフコースの変化と資産管理、金融資産選択」

寿命の伸長は続いており、2017年の人口推計によると2065年の女性の平均寿命は91.3歳に達すると予測されている。すでに90年の人生も目前であるが、特に長い人生を送る女性は、男性と異なる様々な生活上の課題を抱えている。

例えば、老後の心身上の課題としては、1) 筋力の低下や骨折など男性と異なるパターンで要介護状態になること、2) 認知症の発症リスクは年齢と調整しても女性の方が高いこと、経済問題としては、1) 平均的に公的年金額が低いこと、2) 資産運用・管理に不慣れなこと、配偶者の死亡後に多額の資産管理が必要になること、3) 家族問題としては、夫の死亡後、子どもからの介護に頼る期間が長いこと、などが挙げられる。

こうしたなか40年ぶりの民法改正、相続制度（生存配偶者、介護貢献の評価の変更）などが行われ、女性の長い老後に向けた民法・相続法制度改革も進んでいる。本特別セッションでは、主に75歳以上の女性に着目し、その資産の管理、運用、家計の管理、家族内の関係の問題を議論したい。

（2）基調報告者・パネリスト

①特別セッションの趣旨説明（10分）

駒村康平（司会：慶應義塾大学教授）

②基調報告者（各25分）

北村行伸（一橋大学経済研究所、関東部会）

重川純子（埼玉大学、関東部会）

③パネリストによるコメント（各10分コメント 40分討論）

野尻哲史（フィデリティ退職・投資教育研究所、関東部会）

野村亜紀子（野村資本市場研究所、非会員）

5. 懇親会（17時30分より）

懇親会費

生活経済学会会員：2500円

生活経済学会非会員：4000円

6. お問い合わせ先 生活経済学会関東部会事務局

慶應義塾大学経済学部駒村康平研究室中山 komamuralab@gmail.com